



ドキュメンタリー映画を
体感してみませんか?
～高校生による上映会～

『乱世備忘』
チャン・ジーウン
陳梓桓監督
が来る!

入場無料

2月12日[月・祝]
山形市民会館 小ホール

〈第1部〉 9:30 開場

10:00 『あまねき調べ』上映(83分)

〈第2部〉 12:30 開場

13:00 映像文化創造都市やまがたについて

13:30 『乱世備忘—僕らの雨傘運動』上映(128分)

15:50 パネルディスカッション・意見交流

～ドキュメンタリー映画の価値とこれから～



陳梓桓(チャン・ジーウン)監督

×

ドキュ山ユース

(17:00終了予定)

[問合せ]

認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局
phone: 023-666-4480 E-mail: info@yidff.jp

[主催]

ドキュ山ユース

認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭

感情がこたます



すべてを歌にのせて…

あまねき調べ

Up Down & Sideways

山形国際ドキュメンタリー映画祭2017 アジア千波万波 奨励賞
日本映画監督協会賞

監督:アヌシュカ・ミーナークシ、イーシュワル・シュリクマール
インド/2017/83分

インドのミャンマー国境近く、ナガランド州フェクにある約5,000人が暮らす農村。急斜面には棚田が広がり、自給自足の協働作業を支えるコール&レスポンスのワークソングが響き渡る。一方で、穏やかな人びとの表情の奥には、インドからの分離・独立紛争での戦闘や略奪、拷問によって多くの人が亡くなり、家や農地が破壊された苦い記憶が残る。田畑も、恋も、友情も、喪失も、皆が歌とともにある。歌は村を包み込み、受け継がれていく。

乱世備忘—僕らの雨傘運動 Yellowing

山形国際ドキュメンタリー映画祭2017 アジア千波万波 小川紳介賞
監督:陳梓桓(チャン・ジーウン)/香港/2016/128分

2014年9月から2ヶ月半以上続いた、香港の民主的な選挙を求める雨傘革命を、一般の学生たちの視点に立って記録、20の章に分けて構成する。警官たちとの対峙や衝突等は当然描かれるが、むしろ参加する学生たちの日常会話、家族のことなどが多く語られ、彼らの喜怒哀楽、熱意と優しさが素直に伝わってくる。カメラを構える監督も時々恐怖を感じながら、若者たちと警官たちの狭間に入り込み、雨傘革命に参加する。



テレビでは流さない若者の願いとは？



陳梓桓(チャン・ジーウン)監督

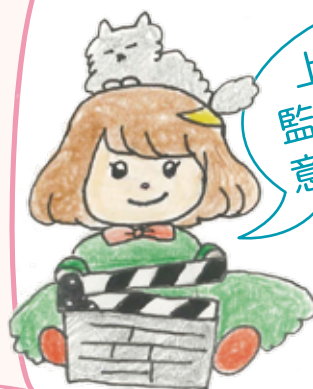
2014年9月26日、警官隊が前進し、私は学生デモ隊の最前線に押し出された。逮捕はされなかったが、警官隊と学生の間で挟まれた。その時間のなかで、私は最前線に立つ学生たちを知り、彼らの姿に、私が一度も持ったことのないような、あるいは遠い昔に失ってしまったようなビジョンと勇気を見た。その後、私たちはともに、あの雨傘運動のすべてを体験した。

今から20年前、梁振英[雨傘革命時の行政長官]は天安門の虐殺を非難したが、曾蔭権[梁の前任の行政長官]は、同じ時期に中国の民主化を支援するコンサートに参加していたことを否定した。20年の歳月があれば、多くのことが変わる。「今後50年間、現在の制度を維持する」と決められたが、その期限が近づくにつれ、香港はより大きな困難に直面することになるだろう。この運動に参加した人たち、自分も、彼らも、その他のあらゆる人が、信念を持ち続け、当初の目的を忘れずにいるかはわからない。そのため私は、あの運動をいつでも思い出せるように、このドキュメンタリーを残したいと思う。

山形国際ドキュメンタリー映画祭2017 公式カタログ「監督のこぼれ」

ドキュ山ユースとは？

山形国際ドキュメンタリー映画祭でボランティアをした高校生の有志で結成されたユースチームです。学年も学校もばらばらの高校生7人が集まりました。初めての活動なので、手探りながらも意見を出し合いながら少しずつ準備を進めています。私たちは、ドキュメンタリー映画の魅力や映像文化創造都市やまがたをもっと地元の方々、とくに若者に知ってもらいたいという思いで活動しています。映像文化と若者をつなぐ架け橋となるよう、また、この上映会を通して自分たち自身の考えも深められるよう邁進していきたいと思っております。



上映後、監督と一緒に意見交流をします!!

